

「高校教育指導課通信」では、各学校の工夫した取組等について情報提供します。第21号は宮島工業高等学校です。

令和2年7月22日（水）

宮島工業高等学校 <http://www.miyajima-th.hiroshima-c.ed.jp/index5.html>

## 生徒が安心して学校生活を送る為の環境づくり

—工業高校の強みを生かした感染症対策を通して—



○食事の際の感染を予防するために、中庭に設置しているテーブルベンチを加工して生徒が利用できるようにしています。外で昼食をとることで前向きな気持ちになれるといった効果も見られました。



○食堂利用時の感染を予防するために、建築科教員が仕切りをつくりました。授業で学んでいることが社会や生活に直接生かせることを教員自らが、生徒に示しています。

### 校長先生より

臨時休業を通して、学校だからこそできる学びや、直接コミュニケーションをとることのよさなどの「学校の価値」について、生徒は改めて感じる事ができたのではないのでしょうか。今後も、学校の教職員が一丸となって、生徒が安心して学校へ通える環境づくりを行います。

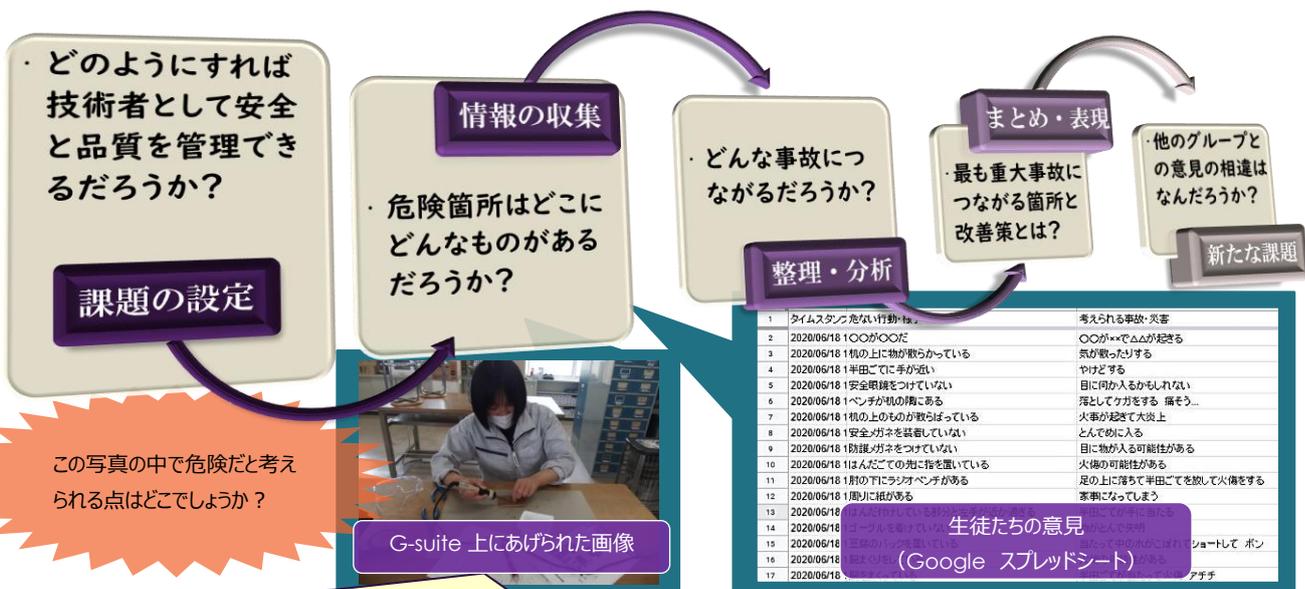


## 学習者基点の能動的で深い学びの実現に向けて

—思考を促し理解を深める授業づくり—

### 探究のプロセスに沿ったICTの有効活用

○工業科の授業「安全指導」（KYT：危険予知トレーニング）において、安全についての理解を深めることを目指し、下の図のような「探究のプロセス」に沿って授業を行いました。「情報収集」の場面でICTを効果的に活用することで、生徒の多様な考えを効率的に収集することができ、次の「整理・分析」や「まとめ・表現」につなげることができました。



### 担当の先生より

▶教室ではなかなか発言できない生徒もオンライン上では自分で考えをまとめ発信できるなど意欲的に取り組む姿がありました。協働することで多くの情報を収集することができ、多角的な分析につながります。

▶実際の教室でできることとオンラインでできることをうまく併用（ハイブリット）したいと思っています。